



前進

薩摩川内市立
祁答院中学校
学校だより
1月号

令和5年1月31日

時に流されることなく

校長 末留 健太郎

早春とは名ばかりの風の寒さが続きますが、3学期がスタートしてひと月が過ぎました。行動制限がない年末年始が新型コロナ拡散にどう影響するか心配していましたが、生徒の皆さんが元気に登校して学校生活を過ごしているのをみてほっとしています。今後も、心身の調子を整えながら感染予防に努め、新たな学年や進路に向かう準備をする3学期を乗り越えていきたいと思います。



「1月は往く、2月は逃げる、3月は去る」の言葉にあるように、3学期は時の流れが加速したように感じる学期です。「月日は百代の過客」、「ゆく川の流は絶えず」など、古典にも時流を表現したものがありますが、徳川家康は天下統一の後、機械式の時計を基に各地で鐘を打たせて人々に正確な時を伝えました。誤った数を打ったり遅れたりすると厳しい罰があったそうです。時間に正確な日本人の生活習慣は、この頃から養われたのかもしれませんが。閑話休題。

さて、日本の「春」は学年末や学年初めの時節、これまでを振り返り、いまの自分を見つめ直してこれから目指す目標や進路を立て直す大切な時期とされてきました。武家政治の時代、一人前の大人として社会に入る節目に「元服」があり、その名残が中学校で行われていた「立志式」です。いまは地域行事で行う所も多いのですが、日本人が時節や成長の節目を大切にしてきたのは、時に流されるまま生きるのではなく、自分の心境を変えたり、現状を変えたりするスイッチとしてうまく活用してきたからではないかと思います。始業式や終業式、卒業式や入学式などの儀式があるのは、単に学校文化を継承するためではなく、自分自身を「リセット」する、または「リスタート」する機会を持つためです。それぞれの機会に自分を振り返り、次のステップを目指して新たな目標を立てる、そこに節目の儀式の意味があると考えます。



中学年代は、幼さから脱皮して一人前の社会人になるための準備期間です。心身の成長が著しいこの中学時代に、理性と知性を磨き、社会の一端を担う力の基礎をつくっていくのです。学問でも、スポーツでも音楽でも、基礎をおろそかにすると上達の過程のどこかで壁にあたります。そのとき、壁に立ち向かう勇気と乗り越える力を持つために、いま自分の目前にあることにしっかり取り組んで欲しいと思います。3学期の登校日は、3年生であと30日足らず、1・2年生も40日もありません。加速する時の流れに流されないよう、3学期に立てた目標のどこまで来たか、よく見極めながら前進していきましょう。

行事予定

1日(水) 3年PTA

3日(金) 入学説明会

10日(金) 部活動停止・もくもく家庭学習週間
(~16日)

11日(土) 建国記念の日

15日(水) 学年末テスト(~17日)

23日(木) 天皇誕生日

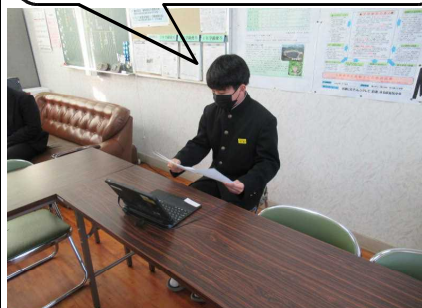
27日(月) 1・2年PTA, 授業参観



3学期始業式

1月10日（火）3学期の始業式をリモートで行いました。各学年代表3名により、進級進学を見据えた準備としての3学期の過ごし方や目標等それぞれの学年に応じた、力強い抱負が表明されました。

去年は、僕たちが先輩方や先生達からいろいろなことを教わりました。でも今度は、僕たちが今の6年生に中学校のことを教えないといけません。教えられる側から教える側へ気持ちを切り替えていきたいです。



1年生 中原 優剛さん

この3学期の目標は、生活リズムを整えて規則正しい生活を送ることです。また、苦手教科の克服を学年のまとめとして、しっかり図りたいです。生活面も学習面もメリハリをつけて、充実させていこうと思います。



2年生 宮坂 薫子さん

3学期の目標は、中学校3年間の復習をしっかり行い、受験勉強に力を入れたいです。また、残り少ない中学校生活を、今まで以上にみんなと話したり、遊んだりして、楽しく過ごしたいです。



3年生 高柳 悠人さん

保護者評価

視点	NO	項 目	評 価
学校 の 状況	1	学校は安全な環境づくりや緊急時の避難態勢の充実に努めている。	3. 2
	2	学校は家庭への連絡や情報提供を充分に行っている。（学校・学級だより、ホームページ 等）	3. 1
	3	職員とは気軽に話ができる。	2. 9
子 供 の 姿	4	子供は登校を楽しみにしている。	3. 2
	5	子供は授業を楽しみにしている。	2. 8
	6	子供は部活動を楽しみにしている。（部活動生保護者のみ回答）	3. 2
	7	子供に礼儀やコミュニケーション力など、社会生活の基礎が身に付いてきている。	3. 1
	8	子供と自分の生き方や将来について話し、考えが深まってきている。	2. 6
	9	子供は家庭学習に自主的・積極的に取り組んでいる。	2. 6
	10	子供は他学年との交流を通して、思いやりの心や自信が身に付いてきている。	3. 1
保 護 者 ・ P T A	11	保護者として、家庭内で役割を与えるなど、自立に必要な力を身に付けさせるよう努めている。	2. 9
	12	P T A活動は充実している。	2. 6
	13	子供はインターネットやテレビ等のメディアについて、家庭のルールを守り、適切に使用している。	2. 7

※評価は、4段階（4：そのとおりである 3：どちらかというとそうである 2：どちらかというとそうではない 1：そうではない）の平均値

上の表は、2学期末に行った保護者による学校評価の結果です。これより、評価が低いものが13項目中4項目ほどあり、課題を感じます。8より、将来に向けての夢や目標等について、子供さんとの家庭での会話の時間をぜひ増やしてください。9・13は、どの家庭でも意識して取り組まれているようですが、今回に限らず毎回数値が低くなる傾向にあります。家庭学習の見届けやメディア使用家庭内ルールなど、あらためて見直してみてもどうでしょうか。12に関しては、P T A三役の方々を中心に、コロナ禍における新しいP T A活動のやり方について、模索しています。来年度に向けて、充実した活動となるよう一人一人の御協力をよろしくお願いします。また、教師の言動について厳しい御意見もあり、学校全体で改善に取り組んでいます。